

## 陳 情 文 書 表

|      |  |       |          |
|------|--|-------|----------|
| 受理番号 | 陳情4第16号  | 受理年月日 | 令和4年6月7日 |
| 件名   | 区庁舎5階エレベーターホールから区議会議場へのアクセスに使用されている防火扉および電子錠に関する陳情 |       |          |

### 【陳情の趣旨】

より開かれた目黒区議会にするには、5階の議会周辺を区民と議員が自由に交流できる空間にすべきなのに、今年になって突然、区議会エリアへ自由に行くことができなくなり、逆に閉ざしてしまうという措置に愕然としました。先の日黒区議会選挙で若い議員も増え、フェイスブックをはじめSNSなど多様な形で区政報告が行われています。このようなソーシャルメディアの発達により区政への関心が高まったのか、平成31年・令和元年度16件、令和2年度19件、令和3年度28件と陳情件数が増えています。

区民に身近な区政をさらに進めていくには、区議会議員一人一人と区民がコミュニケーションをとれる環境を醸成していくことが必要です。区議会議員は28万区民の代表ですが、日常的に議員とつながっている区民もいれば4年ごとの選挙で選挙公報や掲示板などでつながる区民もいます。今までは議員に意見を伝えたいと思ったとき、5階の議会周辺にいけば会える可能性もあり、椅子などが置かれているので自由に話し合える空間がありました。

しかしながら、Bエレベーターホールの廊下にある防火扉は常時閉まっており、業務用エレベーターホールのドアも電子錠が付き、Aエレベーターホールの廊下も電子錠のドアが付いて、職員の立ち会いがなければ議員控室に行くことができず、これまでのように区議会議員と気軽に交流できなくなったのです。区役所は税金で建てられた公共施設であり、最も開かれた空間であるべきです。この肝心かなめの施設が、防災上の視点から見ても、閉鎖空間になることは大きな問題です。もし、セキュリティのことを考慮しての措置であれば、もっと違う方法を検討すべきです。

### 【陳情事項】

- 1 5階エレベーターホールから議員控室へのアクセスにおいて電子錠はやめ、従来通り鉄の防火扉を常時開放し、閉鎖空間ではなく開放的な空間に戻してください。
- 2 Aエレベーターホール区議会事務局側に新設された電子錠ドアは、オートドアに変更してください。
- 3 Bエレベーターホール側に閉じられた防火扉は常時開放してください。
- 4 業務用エレベーターホール側のドアは執務時間中、電子錠を解除してください。